



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア会長主題 「変化をもたらそう」
- 東日本区理事主題 「変化を楽しもう！」
- あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
- 東京西クラブ会長主題 「変化を恐れず、少しずつ」

2021年6月号

NO 537

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

(新約聖書テサロニケの信徒への手紙-5章16~18節)

2020-2021年度を振り返って 篠原文恵

今期の行事も、東日本区大会を残すのみとなりました。クラブメンバー全員で甲府の街を再訪する日を楽しみにしていましたが、コロナ感染が収まらずZoom併用の大会となったのは非常に残念なことです。

昨年の今頃は、来年までには終息すると楽観視していましたが、結果はもっと深刻になってしまいました。しかしワクチン開発が思いのほか早く完成し、世界中が最後の戦いに挑んでいます。失ったものは大きいけれど、残った思いは鮮明になりました。

例会の内容では、9月はフードバンクの現場について、10月はIT、特にZoomの初歩的勉強、11月は映像と共に名曲を聴き、4月は初めてのZoom併用でプランター栽培の野菜作りを聴くことができました。この時は沢山の方たちの応援を頂き、遠くはタイ、九

州、北海道などからの参加者を迎え、ITの進歩に驚き、ワイズメンの技術力に啓発されました。5月はクラブメンバーだけで2度目のハイブリット方式に挑戦して、日英を比較しての福祉問題を語っていただきました。

年初は私自身もZoomを使わず、皆さんに教えて頂きながら勉強のため他クラブのZoom例会に参加し、クラブ内でも多数が画面上で話し合えるようになりました。顔を合わせての会合が禁止されたおかげで、事務会でメンバーが集まると、久しぶりの懐かしいメンバーと会えてとても嬉しく感じます。お互い聴力が低下しマイクは必須ですが、早くマスク無しで会話を楽しめる日が待たれます。

この2年間、未熟で慌て者の会長を支えて下さいました皆様に心からのお礼を申し上げます。



ガクアジサイ・神谷雅子さん撮影

ほんあじさいの花言葉は、「移り気」、「浮気」、「高慢」というネガティブな花言葉を持つのに対して、がくあじさいの花言葉は「謙虚」となっています。これは、ほんあじさいよりもがくあじさいの方が、装飾花の数が少なく、その姿が謙虚に見えることにちなんでいるとされています。かつてはほんあじさいが主流でしたが、最近は見目目がユニークながくあじさいの人気が出てきているそうです。

クラブ役員

- 会長 篠原 文恵
- 副会長 大野 貞次
- 書記 本川 悦子
- 会計 石井 元子
- 担当主事 横山 弥利

5月の記録		ニコニコ	円
在籍者数	12人	メネット	0人
(内功労会員)	1人	クラブファンド(当月)	円
出席者数	10人	コメント	一人
出席率	100%	ゲスト	1人
前月修正	-	WHO参加者	一人
出席者合計	17人	クラブファンド(残高)	円
		ホテ校ファンド(当月)	円
		ホテ校ファンド(残高)	円

6月例会のご案内

今月の強調テーマ 評価

久しぶりに Zoom から解放されて通常の例会が行われます。2020-2021 年度締めくくりの例会です。クラブ総会を開き、今年度の活動状況を総括して、来年度に備えます。

日時：6月17日(木) 18:45~20:00

会場：ウエルファーム杉並4F集会室

会費：無料

担当：C班（石井、神谷、河原崎、横山）

HAPPY BIRTHDAY

当クラブには該当者なし

開会点鐘
ワイズソング（黙唱）
聖書朗読・祈祷
あいさつ・紹介
2021年度クラブ総会 議長
2021-2022年度クラブ役員就任式
諸報告
YMCA 報告
ニコニコ
閉会点鐘

受付：石井 元子
司会：神谷 幸男
篠原文恵会長
— 同
神谷 幸男
篠原文恵会長
篠原文恵会長
司式：神谷 幸男
篠原文恵会長
各担当者
横山弥利担当主事
— 同
鳥越成代次期会長



— 5月例会報告 —

2021年5月の例会を18:45から山手センター3階の会議室にて4月同様ハイブリッド形式で行いました。今月は主事の横山さんにお世話になりながらのハイブリッド例会でした。先月同様会場に来られないメンバー、お客様とはスクリーンを通してコミュニケーションをとりました。

卓話は所沢クラブの大澤和子さんの紹介で日本大学文理学部社会福祉学科准教授鴨澤小織先生にお話をいただきました。卓話は①高齢者のアクティブエイジング、②女性のライフサイクルから見る課題の二つに分けて話されました。

①の高齢者のアクティブエイジングについてはご自身のイギリス留学で研究したこと、また英国滞在中のご主人がイギリス人であるのでイギリスの高齢者の

過ごし方などビデオを通して話されました。

イギリスの高齢者は今を生き、自然と共生しながら過ごす。例えば毎日ウォーキングをして

お酒を飲む、背伸びはしないで社会参加、生涯学習をして今を楽しく生きる考えであること。イギリスは医療費が無料だが介護は有料なので、皆で助け合い最後まで自立しています。日本とは社会事情、税金など違いはありますが、最後まで自立して過ごしたい思いは共通だと思いました。

②の女性のライフサイクルについては、主に女性の貧困について話されました。離婚、DVなど生活困窮者の収入は平均年収の半額以下であること、家に帰らない（帰れない）少女の問題は性にまつわる被害、自殺率など問題が深いようでした。

卓話が終わり皆でお弁当を食べながら鴨澤先生は小さいころ山手センターの近所で育ったこと、YMCAのキャンプに参加したことなど懐かしそうに話されていました。（本川悦子）

— 5月事務会報告 —

日時：5月27日(水)

17:00-18:30

会場：ウエルファーム杉並4F

出席者：石井、河原崎、篠原、

高嶋、鳥越、本川、吉田

<報告事項>

5月1日：あずさ部 EMC エクステンション Zoom 委員会（神谷、篠原）、5月8日：あずさ部 Zoom 評議会（本川、篠原）、5月22日：在京 Zoom 会長会（篠原、横山）

<協議事項>

▼6月例会 当番：C班（神谷、石井、河原崎、横山）クラブ総会とする。事務会の開催内容を事前にメールでクラブメンバーに知らせる。事務会の時間を17:00-18:45とする。

今後の例会、事務会はハイブリット方式を取り入れることで承認されました。

<その他>

①東日本区の次年度のハンドブック・ロースターは従来の冊子の発行に代わり、PDF で配布します。西日本区は従来通り冊子で発行します。

②メンバーの山田さんご夫妻が今月ダイヤモンド婚を迎えられますので、メンバーでお祝いメッセージをカードに書きました。（書記・本川悦子）

☆☆☆インタビュー☆☆☆84☆☆
深尾 香子さんに聴く
 東京多摩みなみクラブ



—深尾さんはなんと自己紹介をされていますか。

「クラブの仲間は、お茶の先生という事以外は良く分からないけれど、性別を意識しないで付き合えます、と言ってくれます。実態は、茶道教師と並行して一般企業、公務員、大学教員として働いてきました。ボランティアも20年ほどです」

—茶道の先生は。

「そろそろ30年になりますが、業界には家元を筆頭に90歳越え80越えの先生方が沢山いるので、まだまだ若輩者です」

—真台子(しんだいす)というのは。

「指導者や、指導者になろうとする人を指導する立場、を意味しますが、まだまだ、知らないことがあるので、勉強は一生続きます」
 —深尾さんの流儀の江戸千家は、紀州徳川家から、江戸に伝わったと聞いたように思うのですが、「江戸千家蓮華庵・景福庵・名倉・宗香」というのは、どういう意味なのですか。

「順に、1.法人名、2.屋号、3.許受時の姓(=私の場合は旧姓)、4.個人ライセンスで、2と4を家元から貰います。江戸千家の流祖は…徳川家で茶道指導をしていた…表千家の内弟子の1人です。武士の出でもあり、江戸勤めの経験があった事など好条件はあったようですが、当地のニーズに叶うよう工夫した結果、人心を得て、江戸の千家さん、と呼ばれるようになったのだそうです」

—深尾さんは幼い頃から将来はこうなる運命だったのですか。

「許状は、一代限りで世襲はありません。家族等の影響で3歳く

らいから茶器で遊んでいましたが、稽古を始めるか否かを決めるのは自分自身です。見習い期間は2、3年。その後入門の是非が言い渡されます」

—東京生まれの東京育ちですか。

「三鷹市井の頭生まれですが、父の代からの転勤族で、結婚後も数回。川崎、札幌(2回)、世田谷(2回)、枚方、金沢、奈良、名古屋、新宿、浜松、多摩に住みました」
 —どんな子でしたか。

「転校が多かったので、引っ込み思案。人前で話すのは苦手でした。小学4年の時、盲導犬協会から幼犬を預かる機会に恵まれ(パピーウォーカー制度)、ボランティアは楽しいものだと味を占めました」
 —小学校では。

「成績は転校の度に乱高下。夏(東京)のプールや器械体操で“2”とついた体育が、冬(札幌)にはスキーで“9”(当時は10段階評価)に挽回。その他の科目も同様でした。地域によって教科書が違うので、習い損なったり、重複したり。本当は義務教育を終えていないのかも知れません」

—中学、高校でのクラブ活動は。

「合唱部、演劇部。声を出すことに自分を追い込みました。その甲斐あって、高校では聖書朗読を担当、校外行事でも舞台に立たせて貰い、今でも制作を請負う事があります」

—その後は。

「ストイックに学び、ひたすら働いていましたが、阪神淡路大震災が起こった時、被災した友人たちに手紙を書くことしか出来なかったのを悔やみました」

—企業で秘書をされたと、聞いたことがあります。そこでご主人となる方に出会われた。

「いいえ、学生の時に通っていた英会話学校です。秘書をしていたのはバブル期の一級建築士事務所。抱えていた現場が常に20を超えていて、都心からタクシーで深夜に帰宅。翌朝出勤すると、設計士が何人も机の間で寝袋に包ま

って寝ている、という状態でしたので、出会いは全く無かったです」
 —本格的に茶道指導に励まれ始めたのは。

「公務員時代、地元の児童館が、経費削減のために“子ども茶道講座を中止”した、と保護者から聞いたのがキッカケです」

—いま茶道指導者として目指しておられるのは。

「キッズ向け3密回避茶道、シニア向け健康茶道、ベビーと保護者のほっこり茶道です。コロナ禍の“新しい生活様式”は、茶道の旧い指導法がそのまま当てはまります」
 —クラブ入会は、いつですか。

「2016年、東京多摩みなみクラブのチャーターメンバーです。」
 —ワイズ、YMCAについては、知識がありましたか。

「小3で札幌へ転居した時、家から歩いて5分の所に北海道YMCAがありました。2005年に東京八王子クラブの長谷川あや子さん、久保田貞視さんと愛知万博で一緒に活動した際、ワイズの存在を教えてくださいました」
 —それから入会まで10年、逡巡はありませんでしたか。

「ご縁に感謝し、喜んで入会しました。」

—東京多摩みなみクラブは、「ぼんぼこ農園」などの活動が定着しそうですね。

「現役世代は、平日昼間は農園に通えないので、友の会メンバーに支えられています」

—いま、日本のワイズに求めるものは、なんでしょう。

「ワイズ発足時の、初心に帰ろう！」

—ワイズの活かしたい利点は。

「一人ひとりが、心と心で繋がっている事。これは他の団体には無いと思っています」

—最後に、勝負所で浮かぶ座右の銘というべき言葉は。

『「主よ、私をあなたの平和の道具としてお使いください」に始まる聖フランシスコの祈りです」

—有難うございました(吉田明弘)

私の大切な人

村野絢子

和泉教会 1

名古屋の母教会を離れ、婚約式で初めて和泉教会を訪れた。風格のある田中明・静牧師夫妻、立会い人をお願いした福尾昇一・満理子夫妻と村野家・西田家の親族の顔合わせであった。

住宅地に建つ教会は、玄関までのアプローチと落ち着いた木と白壁の優しい建物だった。福尾さんの他、高野すみ江さん、山崎高司さん、高木サトさん、望月義和さん…が役員をされていた。子どもを連れて毎週出席し、生れて1か月にならない幼子を連れて行ってあきれられたこともあった。5人とも幼児洗礼を受けたが堅信礼は2人だけである。

3年後、若い吉田進・智子牧師家族が着任し、赤

池陽・アネローゼ一家、小峰家、池谷家、野上家、松崎家と子供のいる家庭が増えた。教会学校〈CS〉も盛ん、若い教師も多く、西湖の赤池家の山の家でキャンプも行われた。役員。婦人、壮年、青年会、どれも活発で、バイブルクラス担当のミス・ジュティンは職場の学校の学生運動で体を壊され、世の中大揺れの時代だった。

ジュティン先生に相談し、我が家の子どもたちは幼稚園には行かず、CSと近所の公園で近くの子ども達と幼稚園ごっこ等をし、YMCAのキャンプとスキーで自然と親しんだ。他の家庭と違う子供時代を過ごした影響はプラス・マイナス様々であるが、主に守られていたことだけは確かである。名前を書ききれない多くの方々の影響を受け、育てて頂いたことを改めて感謝したい。

YMCA Today

■大型連休も終了し、ホテル学校も本格的に始動。1年生はベッドメイクをはじめロビーサービスやフロント業務をホテルニューオータニで、レストランサービスについてはホテルメトロポリタンにてそれぞれ基礎を習得すべく、本物のホテルでホテルマンに教わる授業がスタート。夏には希望者がリゾートホテルで実習を行う予定です。国内旅行需要を受け入れるリゾートホテルを対象に約80人の学生が参加予定です。

■5月3日、三菱商事と東京YMCAが共催し、「第6回ドリームキャンプ」を開催。このキャンプは、障がいのある子どもたちが様々な種類のスポーツを体験できるように、その機会を提供し、アスリート等との交流を通してより前向きな生活が送れるように励ますことを目的としています。今年は初めてオンラインで実施し7家族が参加。ゲスト講師として元車いすバスケットボール日本代表の根木慎志氏と堀江航氏を招き、新聞紙で作ったボールを用いて一緒にゲームをしたほか、バスケットボールのデモンストラクションや選手への質問タイムなど、楽しいひとときを過ごしました。

■4月29日、生活が困窮してい

る江東区内のひとり親家庭を対象に、食材などを無料で配布する「第4回フードパントリー」が東陽町センターで開催。これは東陽町コミュニティセンターが江東区内の複数の子ども食堂と共同で始めた活動で、日増しに高まるニーズに応えるべく、今回は対象を50家庭に増やして実施。食材の引き渡し場所の一つとして江東センターも協力しました。東京YMCAの会員他、多くの企業や個人から食材のご寄付等によるご支援をいただきました。

■今後の主な行事日程【第24回会員芸術祭】6月28日～7月3日 会場：東陽町センター 【「長崎原爆被災写真」パネル展】7月7日～16日 会場：東陽町センター（担当主事・横山弥利）

OB 佐藤幸楽さんからBF使用済み切手と未使用切手3,600円分いただきました。感謝し報告します。

5月例会出席者：＜メンバー＞石井、篠原、高嶋、鳥越、本川、吉田、横山（山手センター）、大野、神谷、村野（Zoom）、＜ゲスト＞嶋澤小織（卓話）、＜ビジター＞大澤（所沢）、樋口（東京グリーン）、長谷川・久保田・小口（東京八王子）、小原（東京たんぼ

ぼ）、＜MU＞河原崎（事務会）

今年の東日本区大会は第24回になりますが、リモート&リアルハイブリット開催となります。興味のあるプログラムに参加しませんか。

日時：2021年6月12日（土）
13:30～16:30

会場：甲府湯村温泉郷 常盤ホテル コンベンションホール

ホスト：甲府21クラブ

プログラム：

13:30～ オープニング&バナーセレモニー

13:40～ 開会式（開会セレモニー、来賓祝辞（日本YMCA同盟総主事、アジア太平洋地域会長、西日本区理事）、メモリアルアワー）

14:22～ 東日本区アワーⅠ（理事報告、代議員報告、部長報告、法人化報告、事業主任報告、表彰、震災・災害報告、理事表彰、奈良傳賞）

15:30～ 東日本区アワーⅡ（理事、役員就任式、新理事所信表明）

16:05～ 閉会式（第25回東日本区大会PR、YMCAの歌）

編集後記

早期の入梅にただでさえ鬱陶しいのに、今年の上半期の2/3以上は緊急事態宣言発令中であつたとか。それでもクラブのみんなは元気澁刺ご同慶の至り。

原稿をお寄せ下さった方、有難うございました。なんとか纏めることが出来ました。（S.K.）